

ZENRIN

証券コード：9474

2020年3月期 第3四半期決算

2020年1月29日

株式会社ゼンリン

1. 2020年3月期 第3四半期決算概要
2. 2020年3月期 通期業績予想
3. Appendix

注)本資料には、本資料作成日時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済の動向・市場需要・競争状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。

尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位四捨五入し小数点第1位まで記載しております。
また、増減率が1000%を超える場合、及び一方若しくは両方がマイナスとなる場合は「－」表記しております。

1. 2020年3月期 第3四半期決算概要

- 1) 決算概要
- 2) 売上高・利益の推移
- 3) 営業利益増減要因
- 4) セグメント情報
- 5) 中長期経営計画(ZGP25)で区分した事業別売上高

1-1) 決算概要

2020年3月期 第3四半期決算のポイント

前年同期比【減収減益】

- プロダクト事業、公共ソリューション事業は堅調に推移したものの、オートモーティブ事業、IoT事業、マーケティングソリューション事業の減収により、売上高は5期ぶりの減収
- 地図DB整備等の固定費や先行投資を含む営業費用が前年同期水準であった為、減収により、営業利益、経常利益は前期利益から損失に、四半期純利益は3期ぶりの減益
- 当第3四半期累計期間の業績と今後の見通しを勘案した結果、通期業績予想を下方修正（P11参照）

（金額単位：百万円）

	2019年3月期 Q3実績	2020年3月期 Q3実績	前年同期比	増減率(%)
売上高	42,996	40,316	△2,680	△6.2
営業費用	41,433	40,782	△650	△1.6
営業利益	1,563	△466	△2,029	—
営業利益率	3.6%	△1.2%	△4.8pt	
経常利益	1,877	△160	△2,037	—
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,017	236	△780	△76.7

1-2) 売上高・利益の推移

2020年3月期 第3四半期決算

(金額単位:百万円)

前年
同期比

売上高

2,680減少 (△6.2%)

営業利益

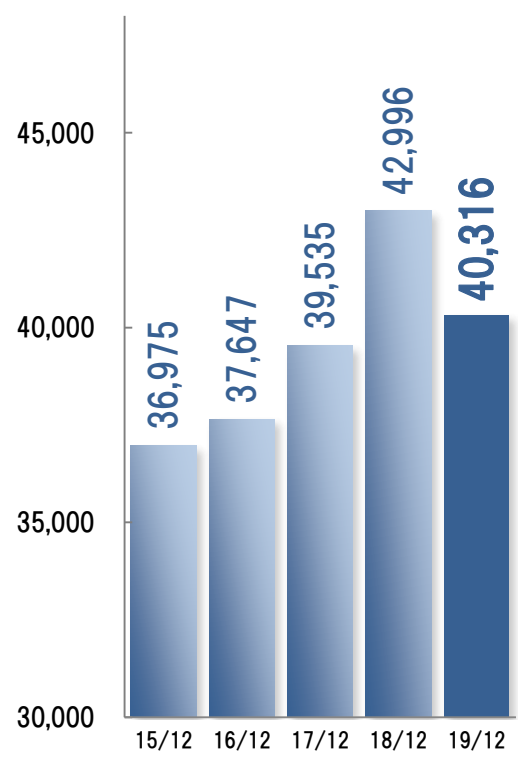
2,029悪化 (－)

経常利益

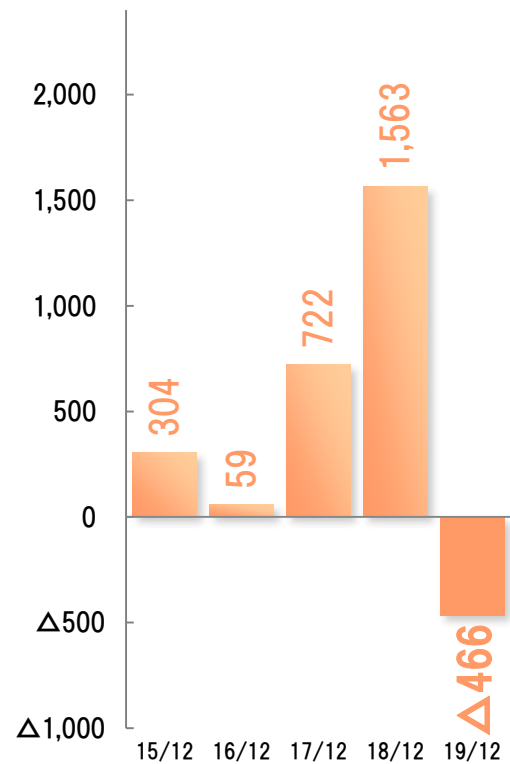
2,037悪化 (－)

親会社株主に帰属
する四半期純利益

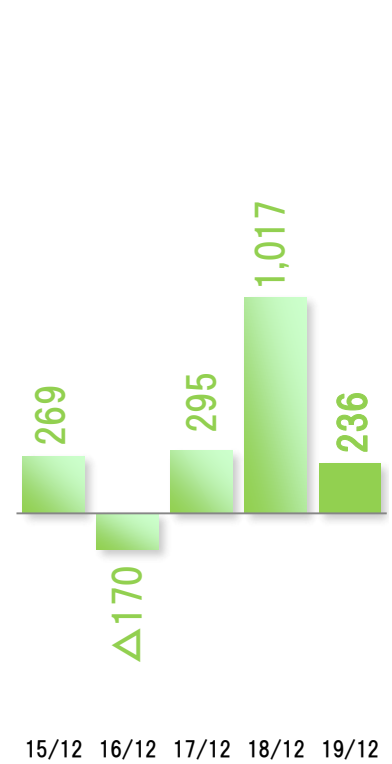
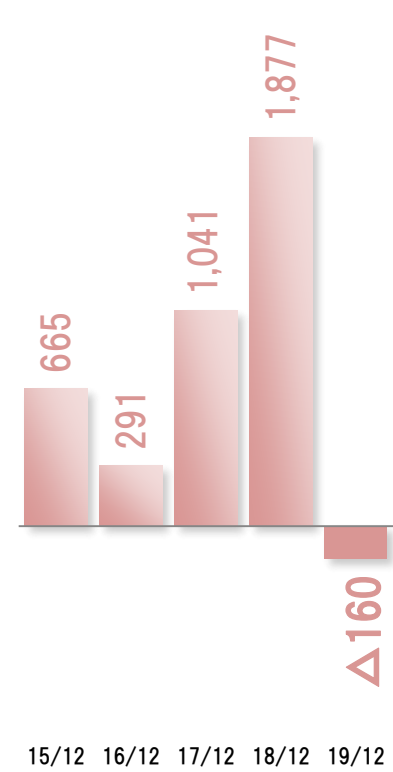
780減少 (△76.7%)



5期ぶり減収



前期利益 → 損失

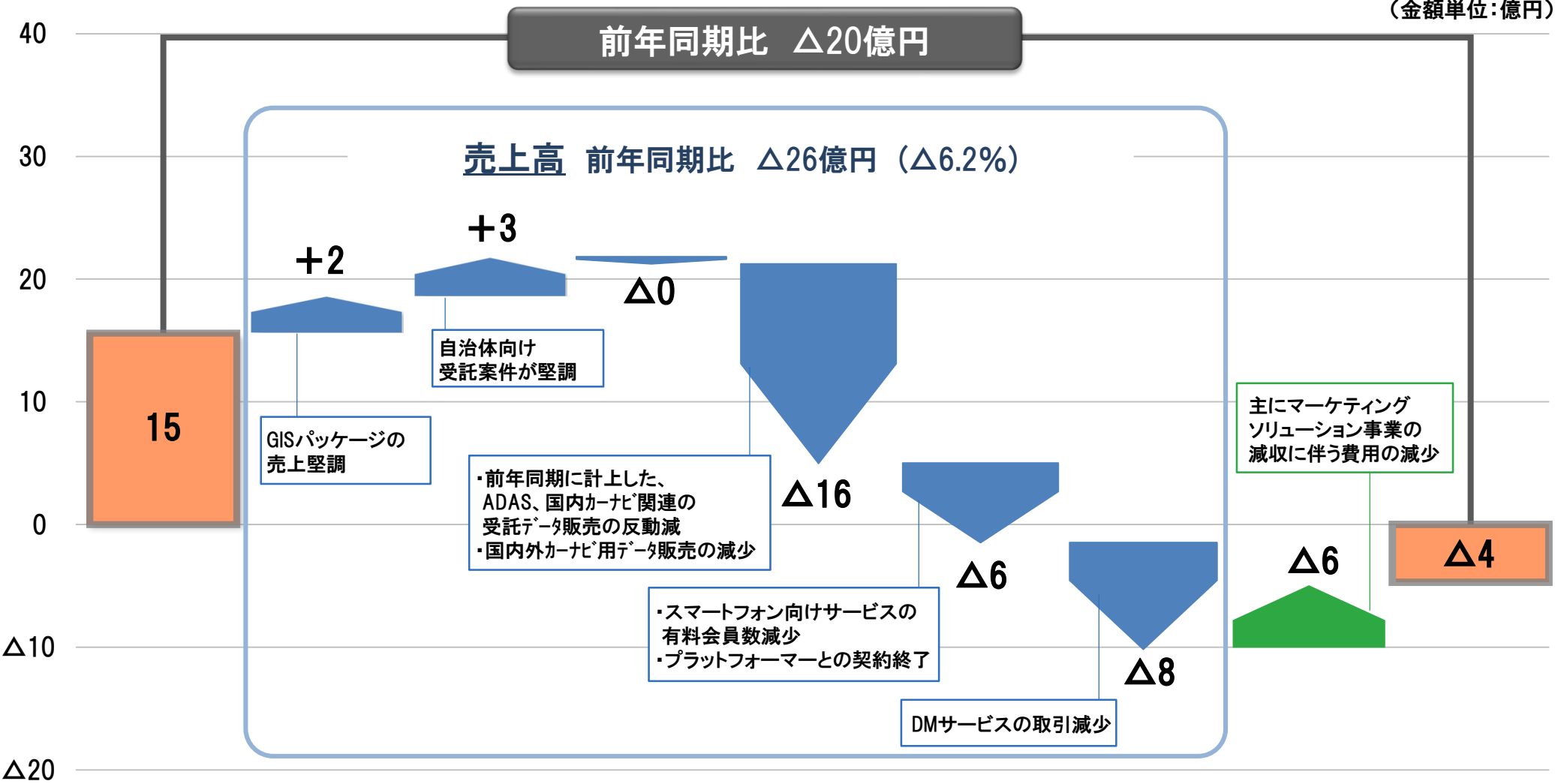


3期ぶり減益

1-3) 営業利益増減要因(前年同期比)

2020年3月期 第3四半期決算

(金額単位:億円)



1-4) セグメント情報

売上構成
比率

82.5%

1. 地図データベース関連事業

主要品目等：住宅地図帳及び応用地図の製造・販売
住宅地図データベース及びカーナビ用データの製造・販売
インターネットサービス向け地図データの製造・販売
スマートフォン向けサービスの提供



7.0%

2. 一般印刷関連事業

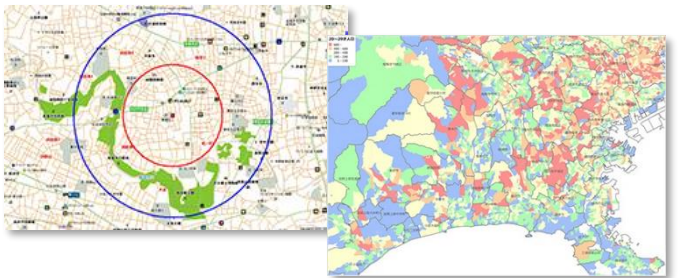
主要品目等：一般印刷物の製造・販売



10.5%

3. その他

主要品目等：マーケティングソリューションの提供
仕入商品の販売



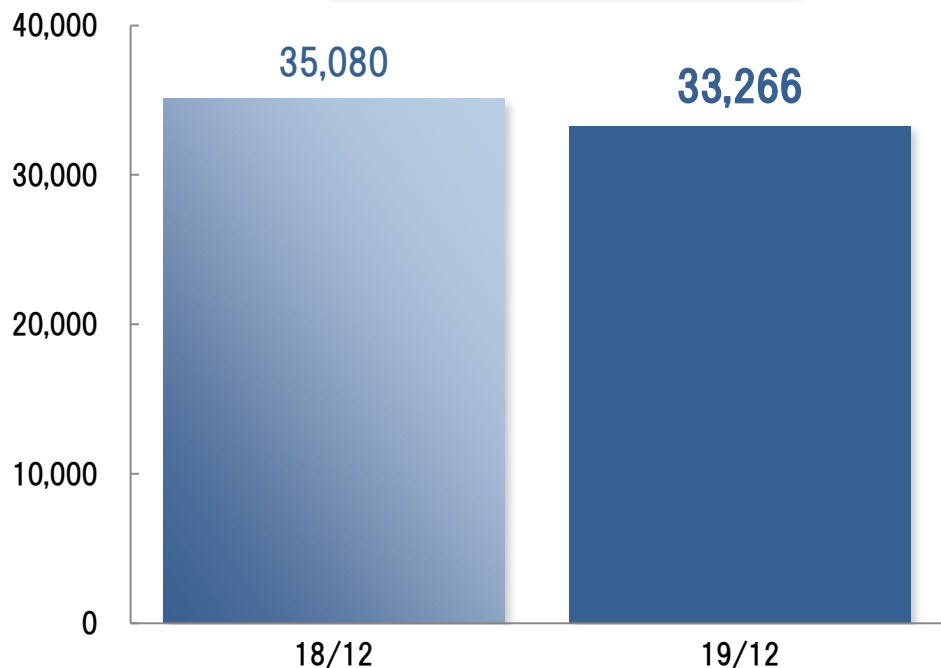
※第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの変更等を行っています。

1-4) 地図データベース関連事業

売上高

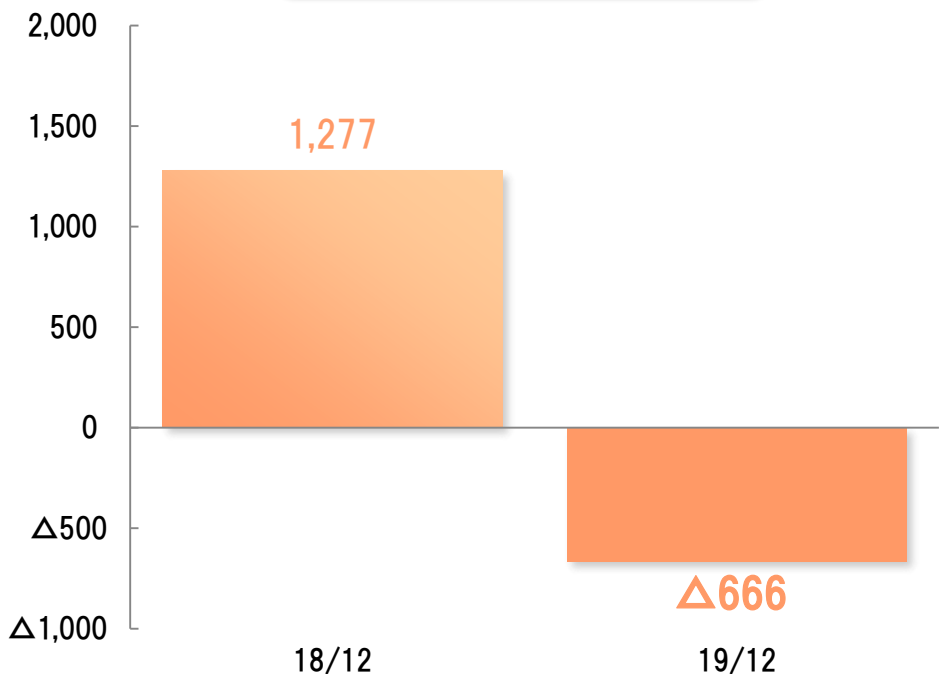
前年
同期比

1,814減少 (△5.2%)



営業利益

1,944悪化 (ー)



■プロダクト事業、公共ソリューション事業は堅調に推移したものの、オートモーティブ事業、IoT事業の売上が減少
 ■地図DB整備等の固定費や先行投資を含む営業費用が前年同期水準であった為、減収により利益が悪化

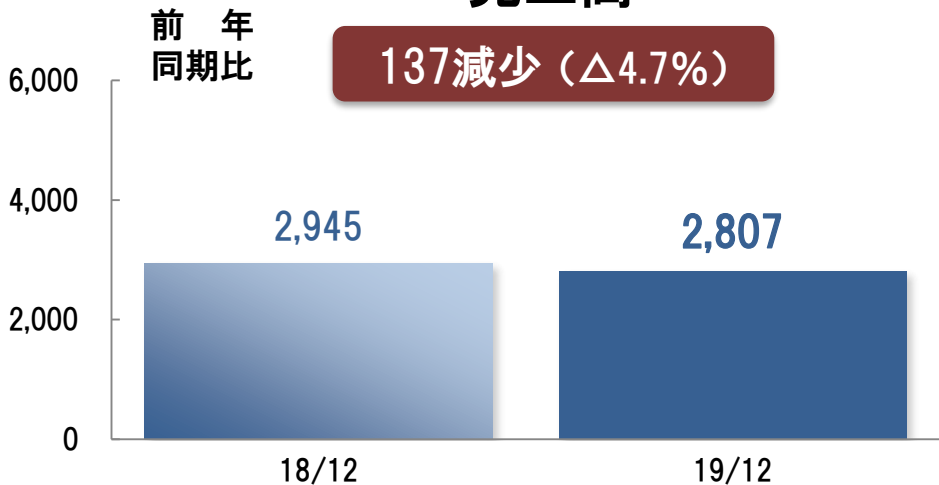
※第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの変更等を行っています。

前年同期比較については、地図データベース関連事業、その他の前年同期の数値を変更後のセグメントに組み替えた数値で比較しています。

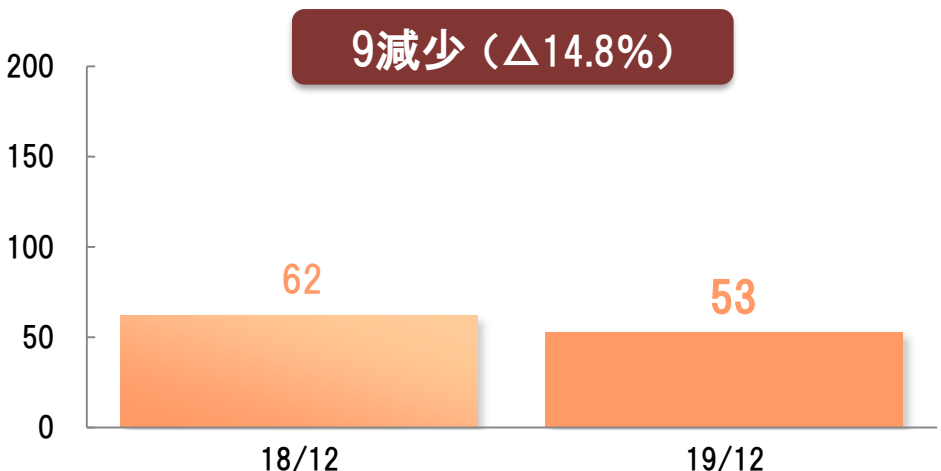
1-4) 一般印刷関連事業・その他

一般印刷関連事業

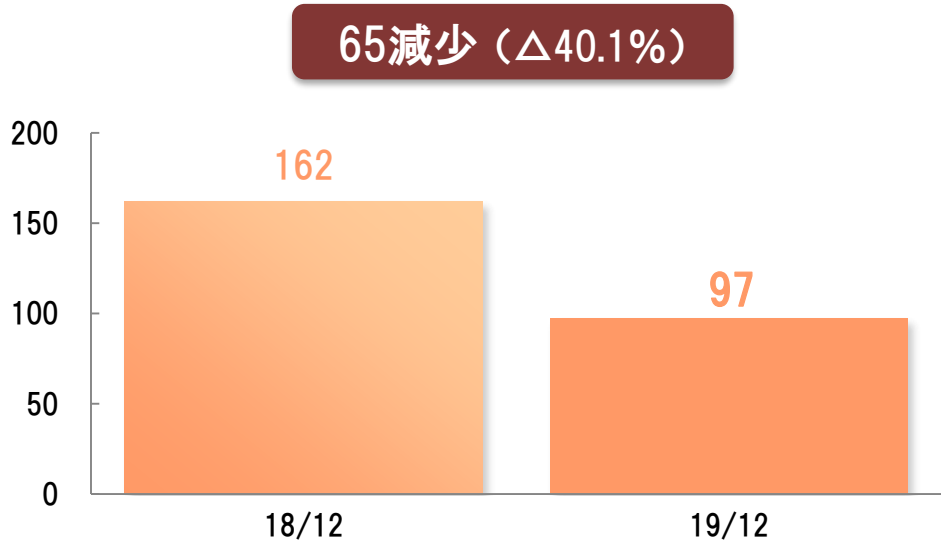
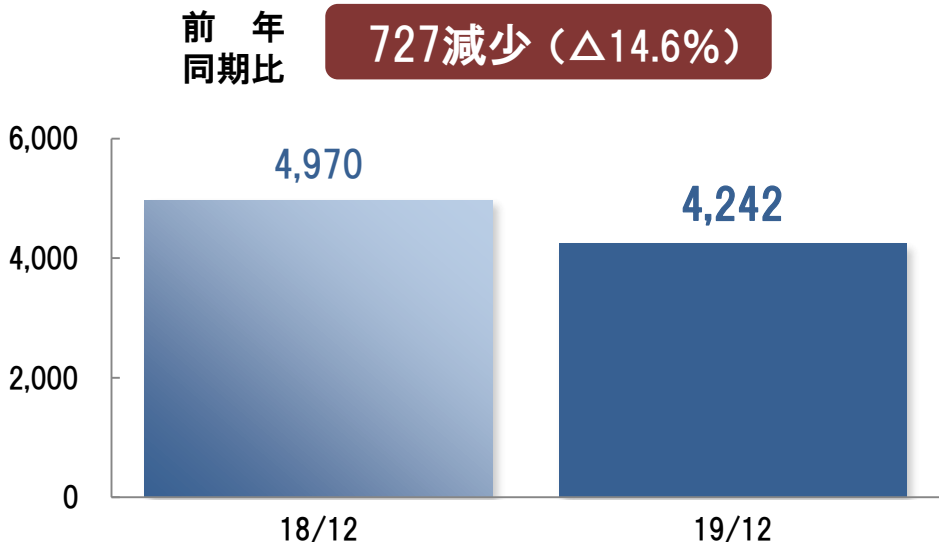
売上高



営業利益



その他



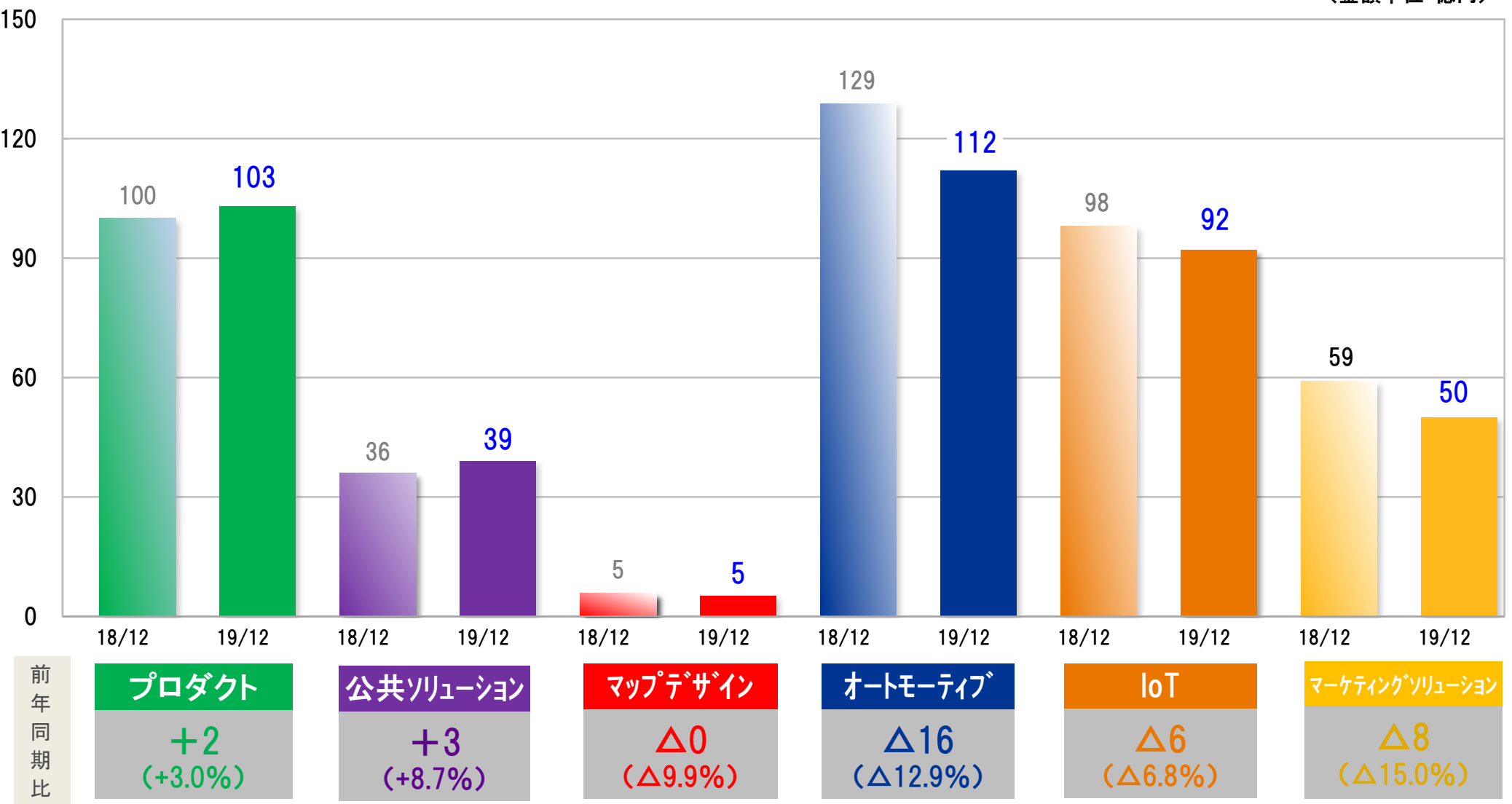
※第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの変更等を行っています。

前年同期比較については、地図データベース関連事業、その他の前年同期の数値を変更後のセグメントに組み替えた数値で比較しています。

1-5) 中長期経営計画(ZGP25)で区分した事業別売上高

2020年3月期 第3四半期決算

(金額単位:億円)



2. 2020年3月期 通期業績予想

- 1) 通期業績予想（2019年4月26日公表値から修正）
- 2) 中長期経営計画（ZGP25）で区分した事業別売上高
- 3) 四半期売上高構成比推移
- 4) 配当金

2-1) 通期業績予想

2020年3月期 通期業績予想について

当第3四半期累計期間の業績と今後の見通しを勘案した結果、2019年4月26日公表の通期業績予想を下方修正
前期比【減収減益】(2020年1月29日公表)

■ 主な減収要因

- ・AM事業：各メーカーのADAS、DA連携等の先行開発計画変更の影響、国内外のカーナビ用データ販売の減速
- ・IoT事業：ソリューション及びMaaSビジネスの取り組みは順調に進捗しているが、下期において、開発受託等に一部遅れ、プラットフォームとの契約終了
- ・MS事業：ダイレクトメール発送代行等の売上減少傾向継続

■ 損益面については、MS事業減収の影響は軽微であるが、AM事業、IoT事業の減収を受け、各利益も前回発表予想値を下回る見込み

※AM事業：オートモティブ事業、MS事業：マーケティングソリューション事業

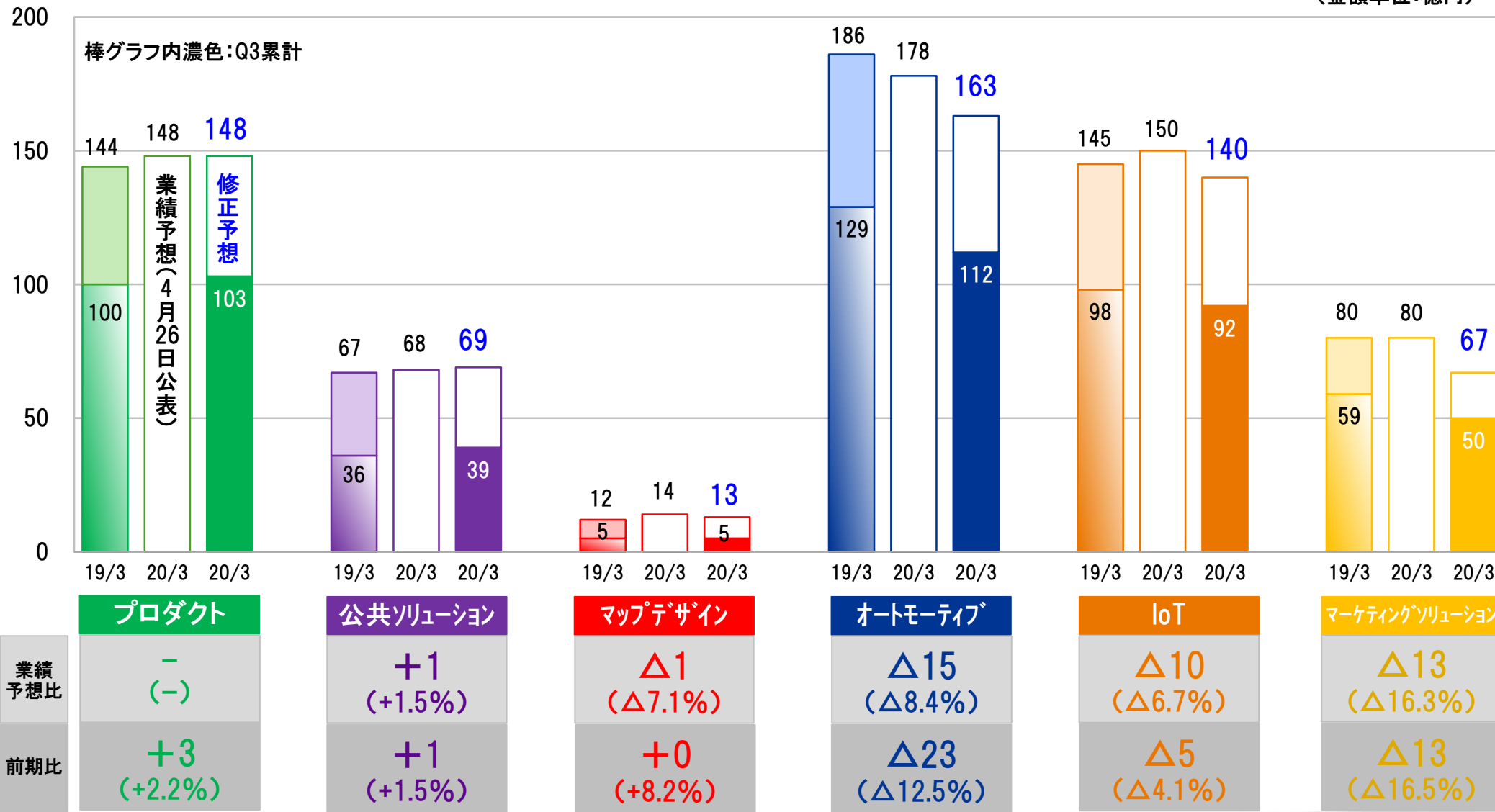
(金額単位：百万円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 業績予想 (2019/4/26)	2020年3月期 修正予想 (2020/1/29)	前期比	増減率(%)	業績予想比	乖離率(%)
売上高	63,747	63,800	60,000	△3,747	△5.9	△3,800	△6.0
営業費用	57,923	57,900	56,800	△1,123	△1.9	△1,100	△1.9
営業利益	5,824	5,900	3,200	△2,624	△45.1	△2,700	△45.8
営業利益率	9.1%	9.2%	5.3%	△3.8pt		△3.9pt	
経常利益	6,200	6,300	3,600	△2,600	△41.9	△2,700	△42.9
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,206	4,000	2,600	△606	△18.9	△1,400	△35.0

2-2) 中長期経営計画(ZGP25)で区分した事業別売上高

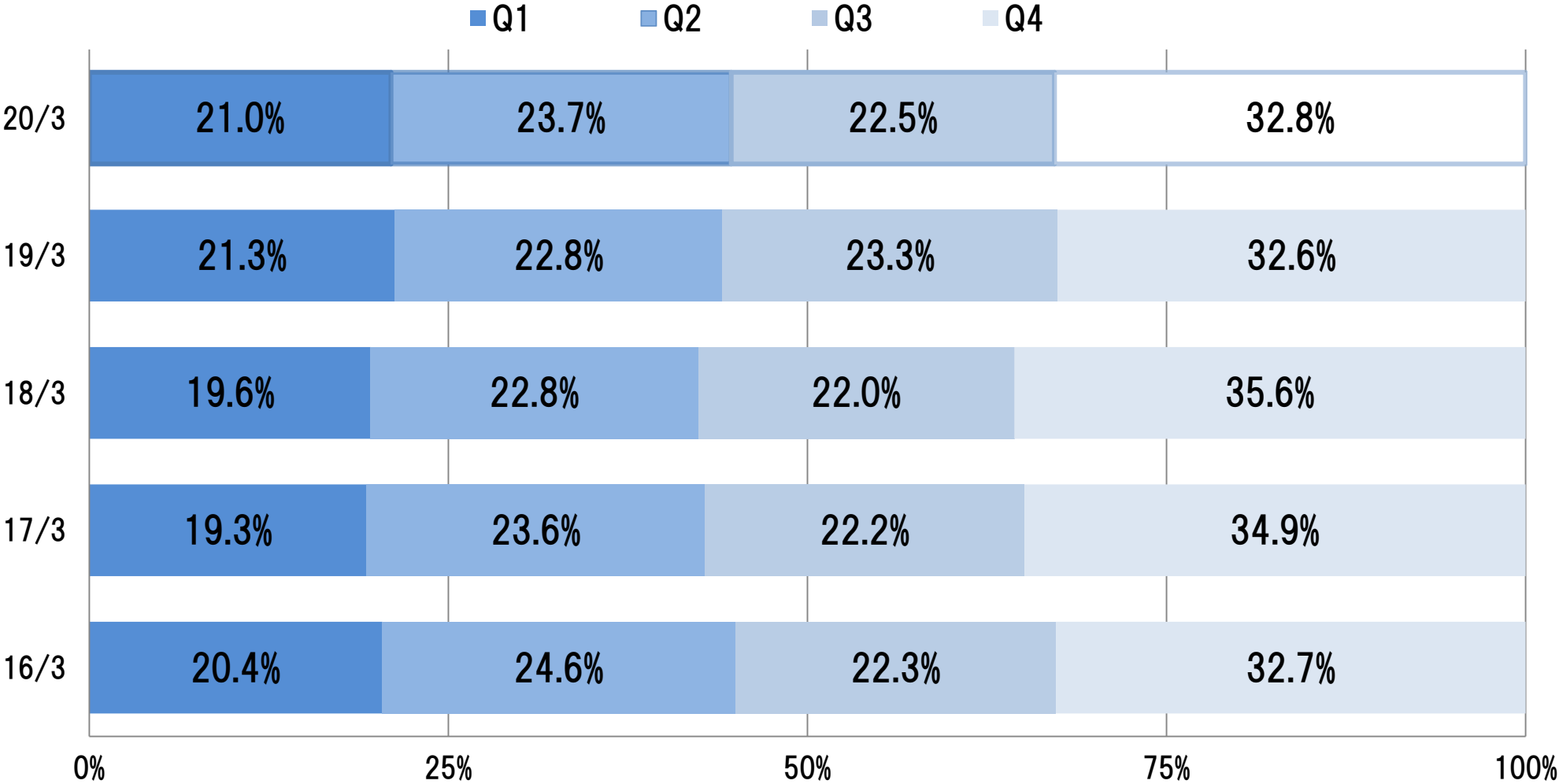
2020年3月期 第3四半期決算

(金額単位: 億円)



2-3) 四半期売上高構成比推移

2020年3月期 第3四半期決算



2-4) 配当金

基本方針

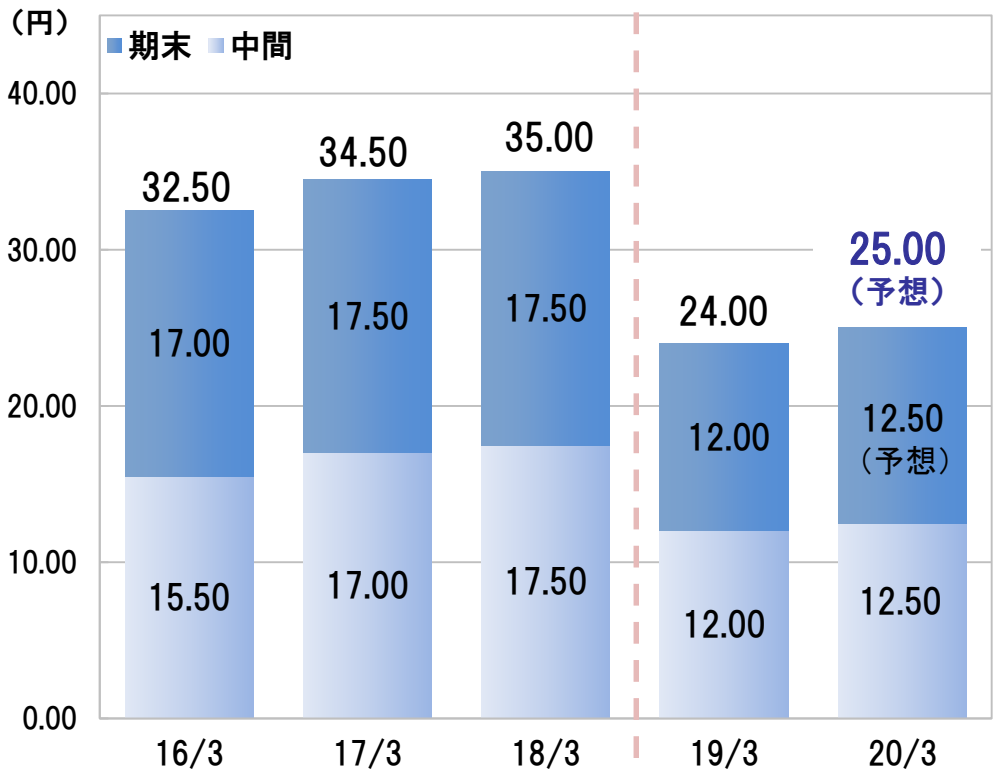
適正な内部留保を考慮しつつ、中長期経営計画における利益成長に基づいた利益還元を実施
連結株主資本配当率(DOE)3%以上を目標

2020年3月期配当金 (カッコ内は株式分割前基準)※

中間	12円50銭 (18円75銭)
期末 (予想)	12円50銭 (18円75銭)
年間 (予想)	25円00銭 (37円50銭)

※2018年4月1日付けで、株式分割(1:1.5)を実施

～ DOE3%以上を維持 ～



2018/4/1
株式分割

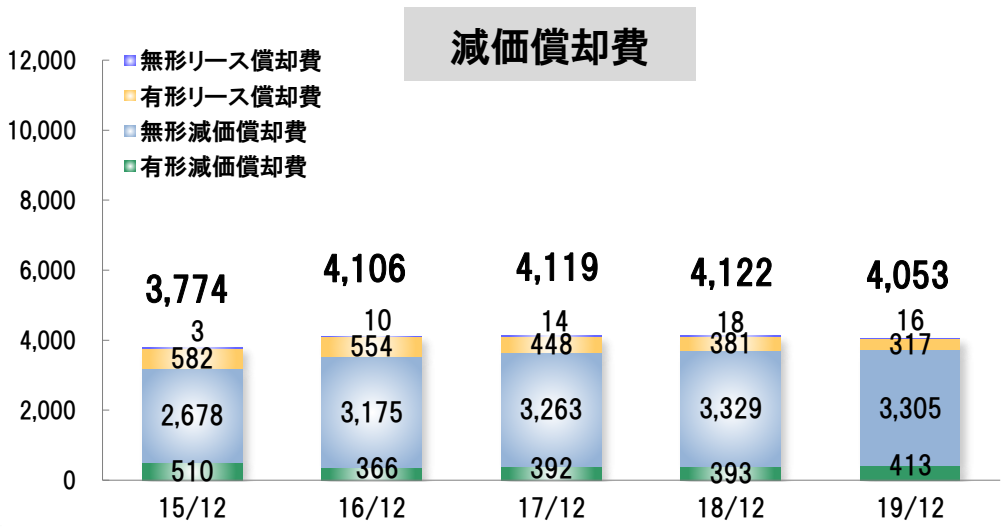
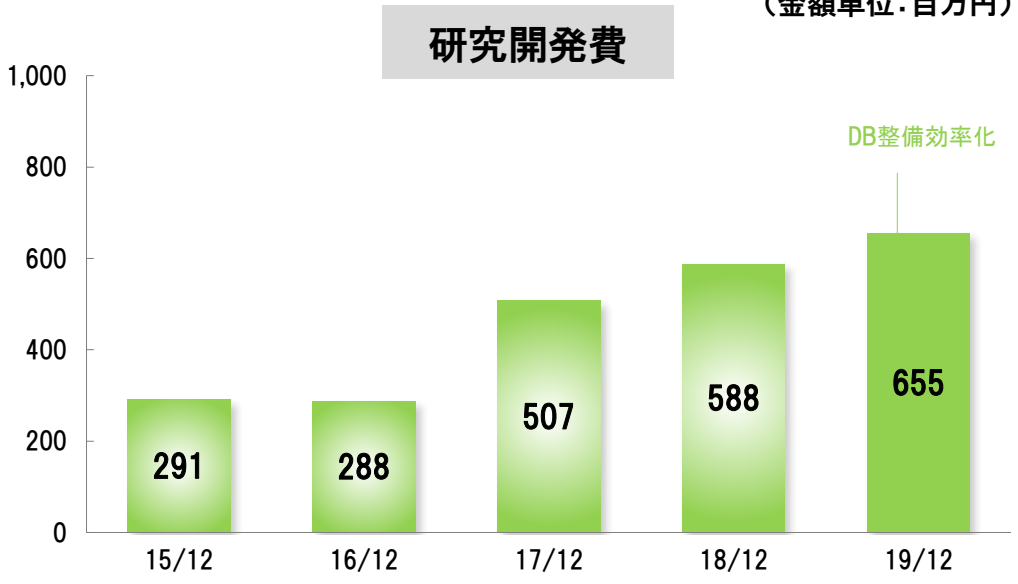
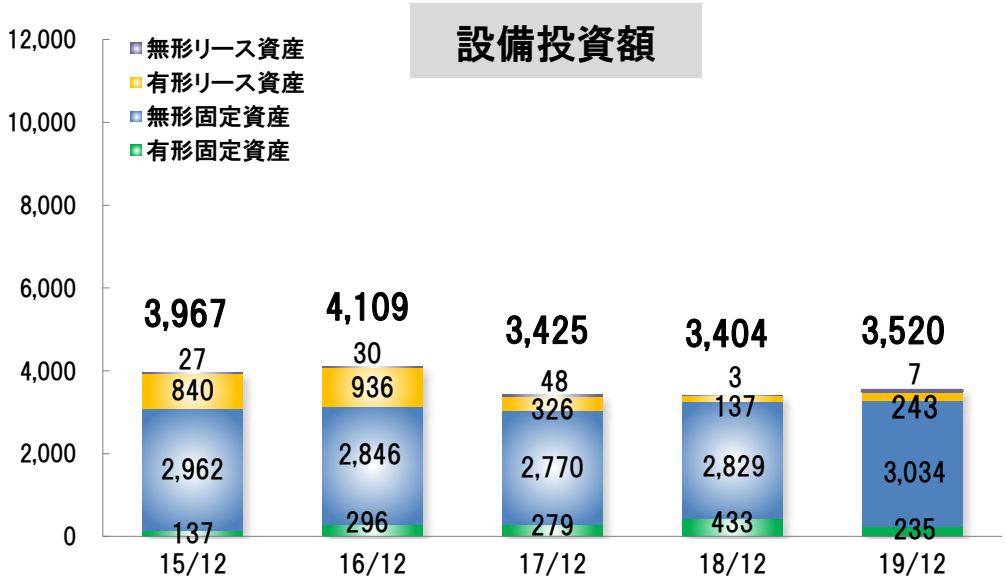
3. Appendix

- 1) 2020年3月期 第3四半期決算概要
設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 2) 2020年3月期 通期業績予想
売上高・利益の推移
設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 3) 中長期経営計画(ZGP25)
目標数値
事業別売上高（実績とZGP25 1stステージ目標数値）
- 4) 事業トピック

3-1) 第3四半期決算概要 (設備投資額・減価償却費・研究開発費)

2020年3月期 第3四半期決算

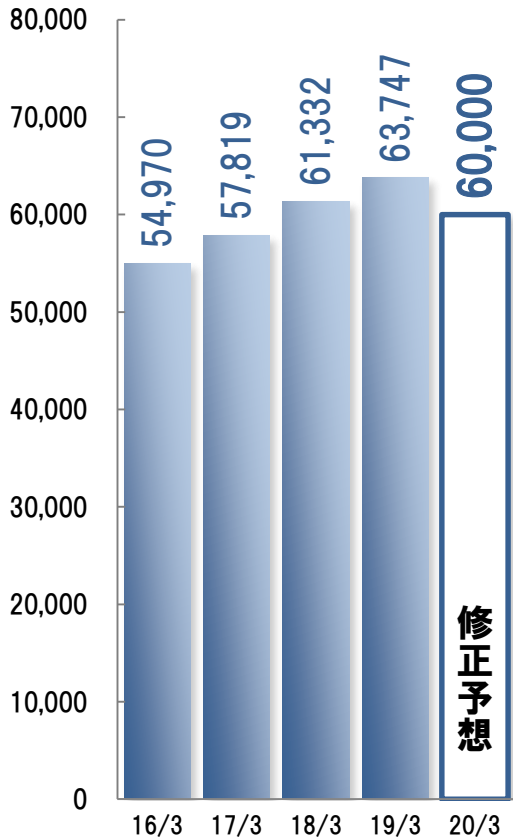
(金額単位:百万円)



3-2) 通期業績予想 (売上高・利益の推移)

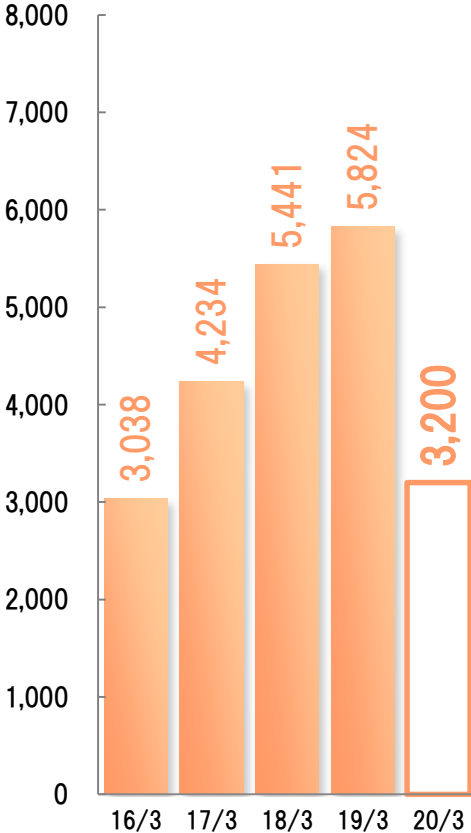
(2020年1月29日公表)

売上高



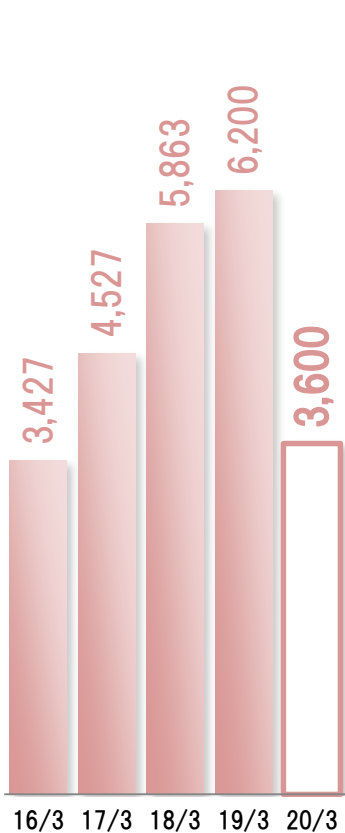
5期ぶり減収

営業利益

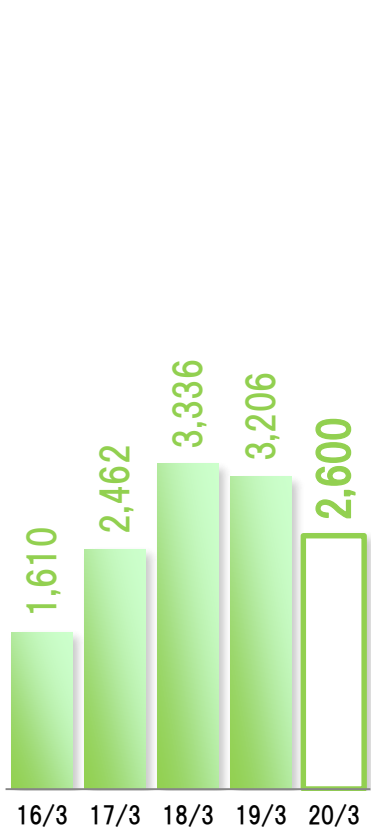


5期ぶり減益

経常利益



親会社株主に帰属
する当期純利益

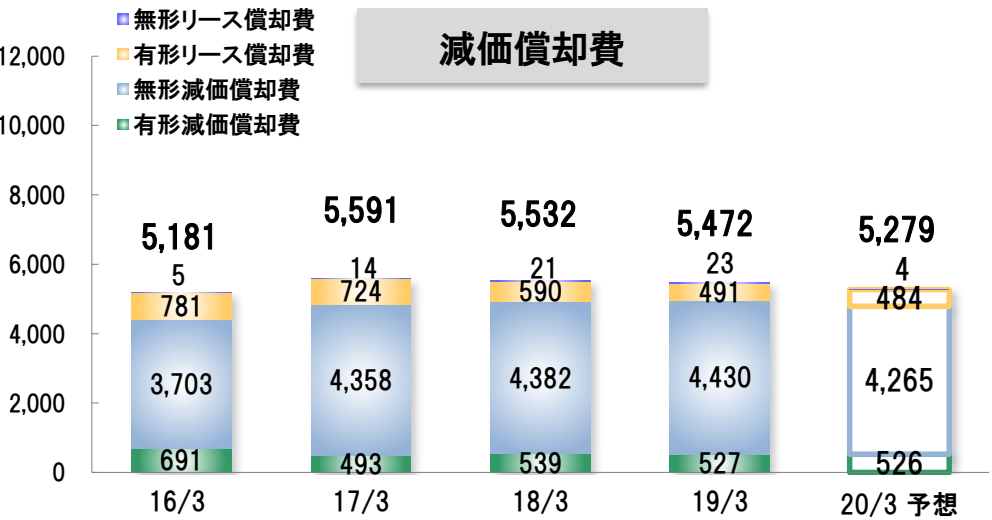
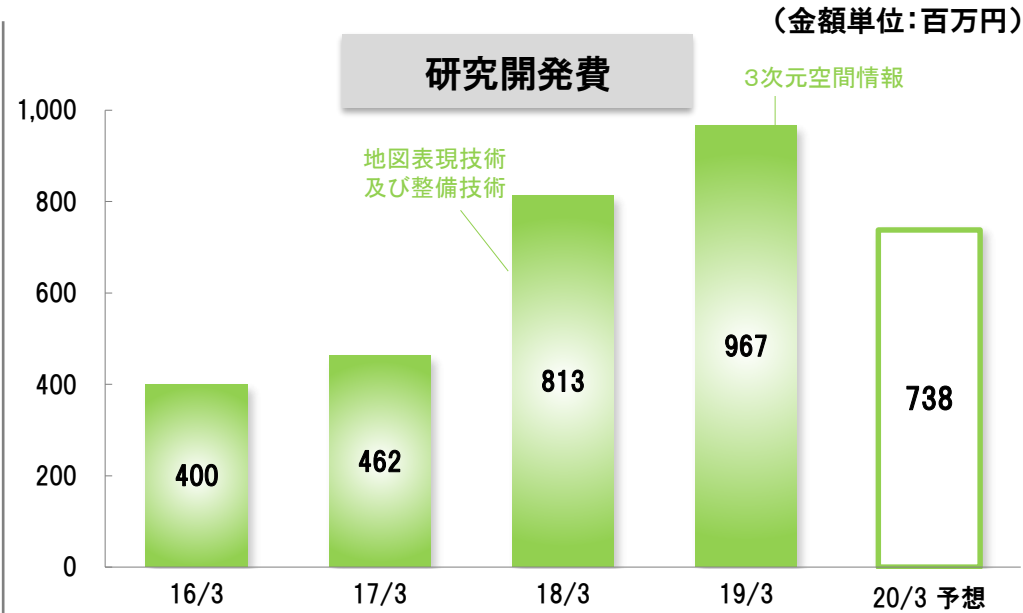
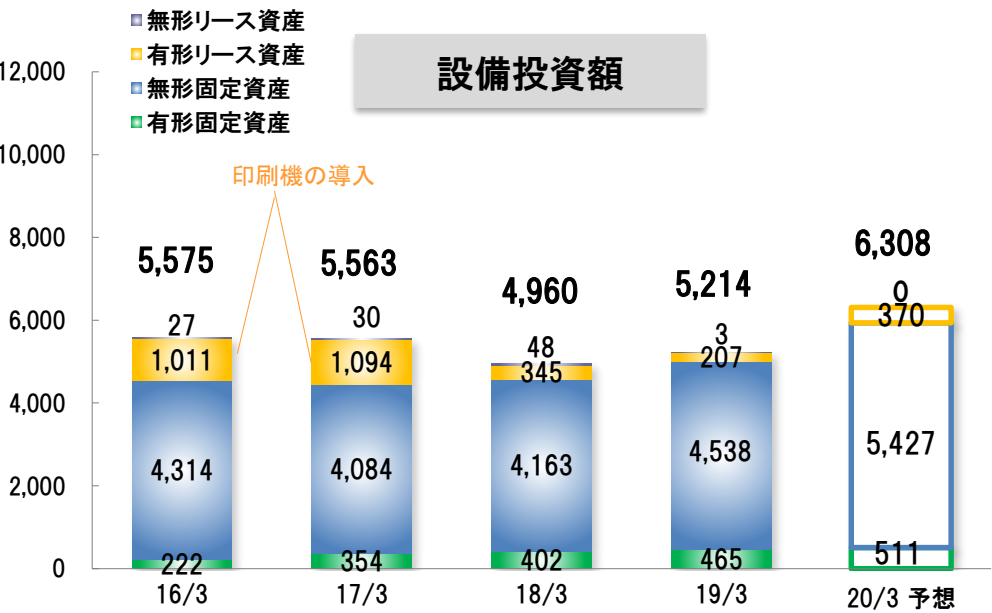


2期連続減益

3-2) 通期業績予想 (設備投資額・減価償却費・研究開発費)

2020年3月期 第3四半期決算

(金額単位:百万円)



(2019年5月決算説明会資料より修正なし)

3-3) 中長期経営計画(ZGP25) 目標数値

(2019年4月26日公表)

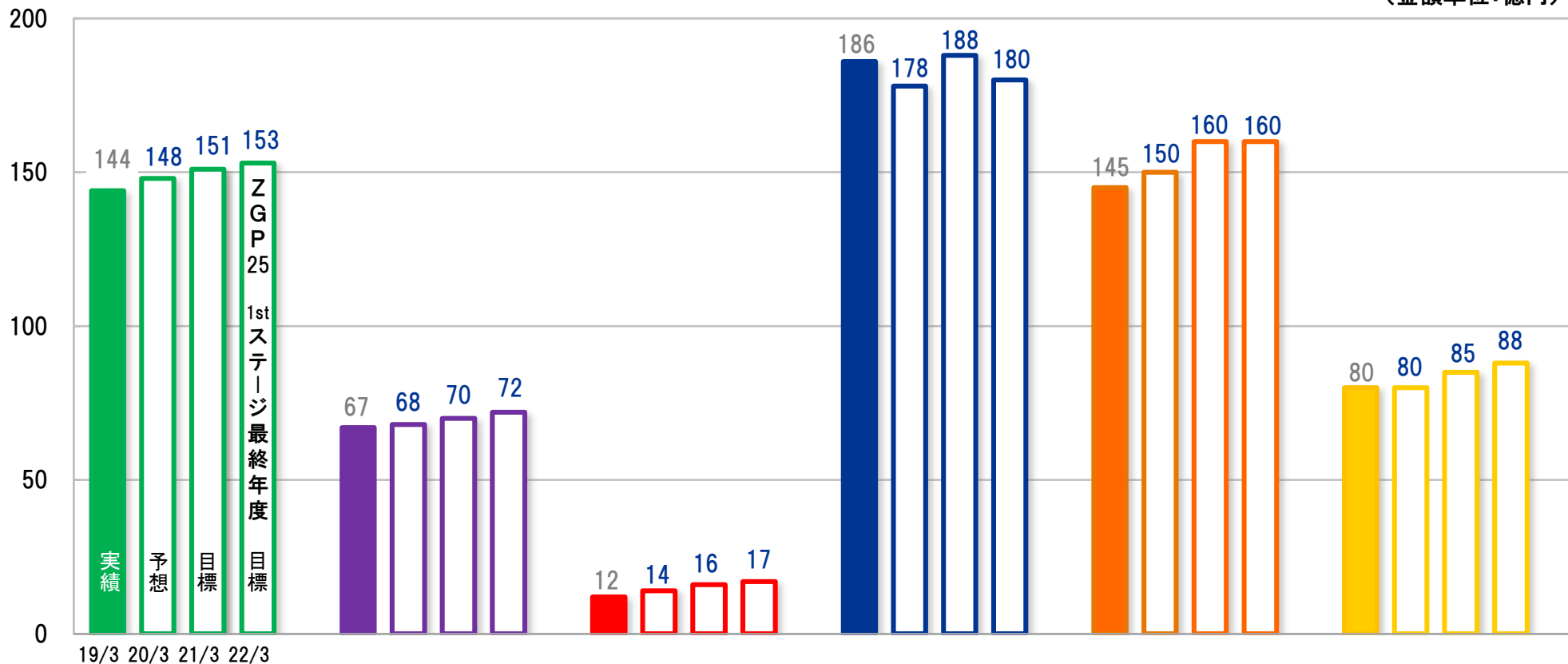
	1st ステージ			2nd ステージ 6年目
	1年目	2年目	3年目	
	2020年3月期 予想	2021年3月期 目標	2022年3月期 目標	2025年3月期 指標
連結売上高	638億円	670億円	670億円	800億円
連結営業利益 (利益率)	59億円 (9.2%)	63億円 (9.4%)	67億円 (10.0%)	100億円 (12.5%)
ROE (自己資本当期純利益率)	9.7%	9.7%	9.7%	10%以上
DOE (株主資本配当率)	3.0%以上	3.0%以上	3.0%以上	3%以上

3-3) 事業別売上高 (実績とZGP25 1stステージ目標数値)

2020年3月期 第3四半期決算

(2019年4月26日公表)

(金額単位: 億円)

19/3
↓
20/3

製品

+3
(+2.2%)

公共ソリューション

+0
(+0.0%)

マップデザイン

+1
(+16.5%)

オートモーティブ

△8
(△4.5%)

IoT

+4
(+2.7%)

マーケティングソリューション

△0
(△0.3%)

3-4) 事業トピック

■当社グループの主なニュースリリース（2019年10月1日～）

リリース日	タイトル
10月9日	「第60回インターナショナル プレミアム・インセンティブショー」に初出展。見て楽しいオリジナル地図柄グッズを紹介（10月16日～18日）
10月15日	「第26 回 ITS 世界会議シンガポール2019」に出展。「移動の可視化」を可能にするMaaS向けソリューションを紹介（10月21日～25日）
10月16日	「ぼうさいこくたい(防災推進国民大会)2019」に出展。地図を活用した災害対策事例を紹介（10月19日～20日）
10月18日	「ゼンリンミュージアム」2020年4月オープン
10月29日	カーシェアリングシステム「Will-MoBi(ウィルモビ)」をリリース（WST）
10月30日	一般のドローン事業者も参画したドローン運航管理システムの相互接続試験に成功
10月31日	AIカメラソリューションを提供するAWLと業務提携（WST）
11月5日	ゼンリンデータコムとみんなのタクシーが業務・資本提携（ZDC）
11月13日	全国の住宅地図がいつでも手元で閲覧できる「ゼンリン住宅地図スマートフォン」が格安スマホ・格安SIMに対応
11月18日	非GPS環境のトンネル内で、ドローンを自動飛行させる実証実験を実施（ZDC）
11月26日	地図デザイン商品の専門店「Map Design GALLERY」12月7日(土) 北九州市に誕生
12月12日	10月に開催された「第26回ITS世界会議シンガポール2019」にてトヨタ自動車株式会社と共同執筆した論文を発表（ZDC）
12月27日	「課題解決型AIソリューション」の提供を開始（WST）
1月21日	みんなのマーケットとの業務・資本提携（ZDC）
1月28日	「いつもNAVI」で「プロ野球キャンプ特集 2020」の提供を開始（ZDC）

※詳細は当社ホームページをご覧ください(<https://www.zenrin.co.jp/information/index.html>)

※ZDC:(株)ゼンリンデータコム WST:(株)Will Smart

3-4) 事業トピック

IoT

みんなのマーケットとゼンリンデータコムが業務・資本提携 (2020年1月21日リリース)

当社グループの(株)ゼンリンデータコムは、オンラインマーケットプレイス事業を手掛けるみんなのマーケット(株)と業務・資本提携を発表しました。

ゼンリンデータコムは、ラストワンマイル関連のアライアンスにおける領域の強化を目的としており、同社が持つ位置情報を活用した技術が、くらしのマーケットの出店者および利用者の利便性向上につながることを期待しています。今後は両社の資産と強みを生かし、より良いプロダクトの提供を目指します。

■資本提携の内容：みんなのマーケットが実施した第三者割当増資の一部を引受け。払込日 2019年12月6日

MAP

地図デザイン商品の専門店「Map Design GALLERY」オープン (2019年11月26日リリース)

「地図に親しむ空間を提供する」というコンセプトのもと、地図デザイン商品を販売する専門店「[Map Design GALLERY](#)」を2019年12月、福岡県北九州市にオープンしました。

新たな自社チャネル開発の取り組みの一環で、地図デザインの魅力を世の中に発信する役割も担っています。地図をデザインしたステーショナリー・雑貨・アパレル商品など、ここでしか入手できない商品も販売します。

2020年4月には、西洋製の日本地図や伊能図をはじめとする地図の変遷を、歴史とともに紹介する博物館「[ゼンリンミュージアム](#)」をオープン予定です。当社は、地図の利用環境が変わり続ける中でこれからも新たな挑戦を続け、地図デザインに親しむ「Map Design GALLERY」を通して、文化的で豊かな人びとの暮らしに貢献していきます。



所在地：福岡県北九州市小倉北区室町1丁目1番1号

ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン <https://www.zenrin.co.jp>
コーポレート本部 経営管理・IR部
IR問い合わせMail: zenrin-ir@zenrin.co.jp